2026年2月26日（木）山陽新聞　[都市圏]

医療、福祉の課題伝える

川崎医福大卒業制作展　パネルや模型180点

倉敷

川崎医療福祉大（倉敷市松島）医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科の卒業制作展が25日、市立美術館（同市中央）で始まった。医学の知識やイラスト技術を生かして作った広報パネル、模型など約180点が並ぶ。3月1日まで。

今春卒業予定の4年生10人が医療、福祉分野の課題解決を目指し、それぞれテーマを設定した。若年層に献血を呼びかける展示では、ポップな色彩のパネルで血液が必要な疾患を紹介。できる仕組みや輸血の親しみやすいオリジナルキャラクターを用いたり、献血の流れをすごろくになぞらえて説明したりしている。

他にも男女で生理について学べるカード、女性目線でデザインした防災バッグ、薬物が脳に与える影響を示した模型などユニークな作品を実際に手に取って見ることができる。

同展実行委員の岸綾夏さん(22)は「複雑な問題をデザインの力で分かりやすく伝えようと意識した。その工夫を見に来てほしい」と呼びかけている。

（後藤泉稀）

若年層へ献血を呼びかけるパネル展示